

地域に根つき、元気をすす分け ～ふるさと しポート～

古野牛川部落会で避難訓練を実施しました

4月27日、古野牛川地区で避難訓練を実施しました。この訓練は、古野牛川部落会の主催により行われ、訓練開始と同時に地区内の住民がそれぞれの自宅からしおさいの館まで徒歩での避難を実施しました。その後、しおさいの館を避難所と想定して、受付、段ボールベッドや間仕切り、簡易トイレの組み立て、炊き出しを実施しました。今回は部落会の主催としては、初めての訓練でしたが、住民約80名が参加し、有意義な訓練となりました。今後は、今回の訓練の内容をさらに向上させ、地区全体での防災意識の向上に取り組んでいきます。



集落内で避難所から最も遠い所からは、徒歩で約17分で避難ができることが分かりました。



避難道の整備により、津波到達時間とされる約33分よりも格段に早い避難が可能となりました。

しおさいの館へは徒歩で避難しました。

避難道を使って避難する様子



しおさいの館でははじめに受付を行いました



参加者による段ボールベッド組み立て



訓練終了後には参加者で炊き出しを食べました



段ボールベッドの強度を体験中